

参考 1.

奈良 元興寺と 元興寺の鬼「がこぜ」 2011.8月 by Mutsu Nakanishi



蘇我馬子が飛鳥に建立した法興寺が平安遷都と共に平城京に移建、寺名を元興寺に改めた南都七大寺の一つ。今の奈良町全体が寺域という大きな寺だったが、今 寺域は狭くなってしまったが、天平の僧房の様式を伝える禅室(国宝)、元興寺大塔のヒナ型といわれる五重小塔(国宝)、本尊阿弥陀如来坐像(重文)ほか寺宝は多い。



飛鳥の瓦が今も載る元興寺 極楽院僧房・禅堂 境内に桔梗の花 遠くに奈良の大文字山「高円山」



奈良元興寺の厄除鬼 「鬼は内 福は内」

元興寺の鬼「がこぜ」

2009年2月 Iron Road より

この季節になると毎度ながら、「鬼」が気になる。
最近では「福は内 鬼は外」から「鬼も内 福は内 鬼も内」と教えるところが多くなっている。
「地球上に生きとし生けるもの みな共生する仲間」だからと・・・。
昔話の現代版書き換えと同じで、ちょっと行き過ぎの感じがするのですが・・・。
久しぶりに 街に 人を助ける良い鬼 厄除け「鬼」の飾 が売られているのを見つけて 思わず買いました。
かわいらしい顔で振ると「からころ」と澄んだ音がする。

昔 奈良元興寺に「がこぜ・元興神」という鬼がいて 悪者を退治したことから、奈良元興寺の節分祭では「鬼は内、福は内」というそうです。
あの怖いごい形相の蔵王権現三体が祭られている吉野の蔵王堂も、追われた鬼をあつめて、改心させて「鬼は内 福は内」という。

「鬼」は自分たちとは異なる集団を「鬼」として排除してきた遠い昔の名残り。
そんな中に製鉄の集団もいたという。



「いつも 一生懸命働きながら 騙されて 退治される」そんな鬼が日本各地で語り継がれてきた。
「鬼は外 福は内」と言いながら うちでは鬼に感謝し、憎めない。
そんな構図が「鬼は内 福は内」の言葉として民衆の中で語り継がれてきたのではないかと思っている。
最近の世相を思いつつ、また、 いろいろな困難に直面している人たちの思いつつ、
「共に生きる」との姿勢を願って「 福は内 鬼も内 」と

2009.2.1. 神戸にて Mutsu Nakanishi

